

## 第六期帯広市総合計画（原案）修正一覧

	項目	修正案
1	序論 1 計画の考え方 (2) 計画の性格 P 2 1段落目	今回の総合計画は、「帯広市まちづくり基本条例」の制定後に策定する初めての総合計画でありとして、幅広く市民が参画し、また、策定の過程を議会と共有しながら取り組んだ計画でもあります。
2	序論 2 時代の潮流とまちづくりの課題 (前文) P 4 1行目	我が国は、これまで高度経済成長期を経て、世界有数の経済大国として、豊かで平和な社会を実現してきました。
3	序論 2 時代の潮流とまちづくりの課題 (1) 人口減少や少子高齢化がすすむ社会 P 4 下1段落目	近年の人口構造の変化を踏まえ、定住を促進するため、誰もが暮らしやすく、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりなどをすすめるとともに、地域経営の視点から、都市機能の集積や地域経済の活性化、適正規模のまちづくりをすすめる必要があります。
4	序論 2 時代の潮流とまちづくりの課題 (2) 安全・安心を求める社会 P 5 1段落目	近年、国内外において、地震や洪水などの大規模な自然災害が発生しています。また、食品の偽装や消費者被害の発生、 <u>救急医療の受入体制</u> <u>地域医療への不安</u> など、社会の信頼性に関わる問題が生じています。

	項目	修正案
5	序論  2 時代の潮流と まちづくりの課題 (3) 経済のグローバル化 がすすむ社会  P 5 2段落目	<p>米国に端を発した世界的な金融危機と、我が国の急激な景気の悪化を契機に、雇用不安や格差に対する懸念が社会問題となり、経済構造の見直しや体質改善などの課題が生じています。</p>
6	序論  2 時代の潮流と まちづくりの課題 (4) 地球環境を大切にす る社会  P 6 下1段落目	<p>環境の有限性を認識し、水や緑を地域共有の財産として保全し、廃棄物の排出抑制、エネルギーの地産地消、<u>雪氷の活用</u>、<u>環境産業の育成</u>など、環境と都市、環境と経済が両立する低炭素社会のモデルとなる持続可能な地域づくりをすすめる必要があります。</p>
7	序論  2 時代の潮流と まちづくりの課題 (6) 価値観が多様化する 社会  P 7 2、3段落目	<p>社会の成熟化に伴い、人々の価値観は多様化し、物質的な豊かさより、心の豊かさや個人の生き方をより重視する傾向が強まっています。価値観やライフスタイルの変化の中で、社会貢献への意識が高まり、多様な結びつきによるボランティア活動などへの参加が増加しています。一方で、地域の人口構造の変化などにより、居住地を基盤とした地域コミュニティの活力の低下が危惧されています。</p> <p>これからのまちづくりにおいては、<u>町内会等の身近な地域コミュニティの活性化</u>などにより、<u>多様な市民の活力を地域社会の発展に活かす地域づくりにつなげていくことが必要</u>になっています。<u>ことが大切になっており、特に、町内会などの身近な地域コミュニティの活性化が必要</u>となっています。</p>

	項目	修正案
8	序論  2 時代の潮流と まちづくりの課題 (7) 地方分権や市民協働 がすすむ社会  P 7 2段落目	<p>地方分権一括法による第一期分権改革では、国と地方は、従来の上下・主従から対等・協力関係に改革されました。また、地方交付税改革、国庫補助負担金改革、国から地方への税源移譲を一体的に行う三位一体改革や市町村合併もすすめられてきました。<u>自治体の行財政環境は大きく変化してきています。</u></p>
9	基本構想  3 都市形成  P 8 2段落目	<p>今日、本市は、<del>人口構造の変化や循環型・低炭素社会への対応、社会基盤の安定的な維持などの諸課題に対応しながら、十勝圏の中核都市としての都市形成をすすめ、持続的に発展していく必要があります。</del><u>ことが必要です。</u></p>
10	基本構想  3 都市形成  P 8 4段落目	<p>農村地域は、<u>豊かで美しい田園景観空間</u>などの地域特性を活かし、食料生産と生活の場として、調和の取れた地域づくりをすすめます。</p>
11	基本構想  4 基本構想策定の 基本的視点 (1) 市民主体のまちづくり  P 9 2段落目	<p><u>市民</u>が自らのまちを自らの力で創造する気概を持ち、住民福祉の向上をめざし、<u>市民主体のまちづくり</u>をすすめます。</p>
12	基本構想  5 まちづくりの基本方向 (1) 都市像  P 10 5段落目	<p>人口減少や経済縮小など、これまで経験したことのない地域活力の低下への懸念を乗り越え、潜在的な可能性を活かしながら発展力を創出し、<del>十勝圏やの中核都市はもとより、</del>東北海道における拠点性を高め、住みよいまちづくりをすすめ、次代に継承していかなければなりません。</p>

	項目	修正案
13	基本構想  5 まちづくりの基本方向 (2) まちづくりの目標 ③活力あふれるまち  P 1 1 2段落目	<p><u>安全で良質な食料の生産のため、基幹産業である農業の振興をはじめ、</u>するほか、地域の特性や資源を活かし、農商工や産学官の連携により新たな産業を育成するとともに、商工業の振興や中小企業の経営基盤の強化などにより、地域産業を振興し、雇用の確保をすすめます。</p>
14	基本構想  5 まちづくりの基本方向 (2) まちづくりの目標 ⑦思いやりとふれあいのまち  P 1 2 2段落目	<p><u>男女共同参画社会の推進やアイヌの人たちの誇りが尊重され、ユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくりや、アイヌの人たちの誇りの尊重、男女共同参画社会の推進など、誰もが支障を感じることなく安全で安心して生活できる、思いやりのある地域社会づくりを</u>すすめます。</p>
15	基本構想  5 まちづくりの基本方向 (2) まちづくりの目標 ⑧自立と協働のまち  P 1 3 1段落目	<p>我が国では、中央集権型から地方分権型の社会づくりに向けて様々な改革がすすめられています。地方分権の進展により、自治体が自主性・自立性を高め、地域の特性を活かしながら、<u>市民とともに個性豊かで活力のある地域社会の</u>形成することが必要です。</p>
16	基本計画（各論編）  施策 2-3-2 青少年の健全育成 (1) 青少年を育む環境の整備  P 4 9 1行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で青少年を育むため、家庭、地域、学校などと連携し、意識啓発や<u>ボランティアの育成など環境整備を</u>すすめます。</li> </ul>

	項目	修正案
17	基本計画（各論編）  施策 3-1-1 農林業の振興 （1）環境と調和した農業 生産の推進  P 5 3 1行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で良質な農畜産物を供給するため、<del>農薬や化学肥料の低減をすすめ、環境との調和に配慮したて、クリーン農業などに取り組み、安全で良質な農畜産物の農業生産を推進します。</del></li> </ul>